

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査の概要

1 目的

療養病棟入院基本料等の医療の実態を調査し、診療報酬改定の検討資料とすることを目的とする。

2 調査項目及び調査内容

平成18年度調査の方法を踏襲しつつ、患者分類に基づく包括評価導入に伴う配置職員、患者構成、コストの変動等、医療療養病床の実態の調査を実施。

調査施設数、調査内容については以下のとおり。

(1) 調査施設数(病院700施設、有床診療所650施設)

(2) 調査内容

① レセプト調査

療養病棟入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料が算定されている入院患者を対象として、平成21年1月診療分の診療報酬明細書を用い、療養病棟入院料 A～E の算定状況、医療区分の該当状況等について調査を実施。

② 施設特性調査

平成21年3月1日時点で療養病棟入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している保険医療機関を対象に、職員配置の変動及び入退院患者数、入退院患者の患者分類区分、入院元・退院先、入退院理由などの入退院患者の状況について調査を実施。

③ 患者特性調査

平成21年3月1日時点で施設特性調査を行う医療機関に入院している患者に対し、年齢・入院期間・医療区分等の基本属性や、提供されている医療サービスの内容について調査を実施。

④ コスト調査

平成20年10月1日時点で療養病棟入院基本料を算定している保険医療機関を対象に、調査対象医療機関の人件費、減価償却費、医薬品費、材料等の払出量等について調査を実施。